

2022年度

(令和4年度)

学校評価自己評価表

済美	中学校区	校番 7	福山市立	済美中	学校
最終更新日			2023年(令和5年)3月10日		

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区	前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	中学校区として 統一した取組等
	○コロナ禍において、評価委員、地域や保護者が児童生徒の健やかな成長に向けてその役割を果たせるよう、課題や取組、変化等について、学校から発信して情報を共有していくことが望まれる。	○基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。 ○校区一体となった取組を通して、児童生徒の集団への意識が高まっている。また集団を牽引するリーダーも育ってきている。	○課題発見・解決力 ○コミュニケーション力 ○他者とかかわり合う力・心 ①自らの目標に向かって努力し、チャレンジしている。 ②場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③他者とかかわり合いながら共感的人間関係を築き、共にによりよく生きようとしている。	○社会に開かれた教育課程「校区カリキュラムマップ」の実現 ○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会、生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成	

III 自校	ミッション	学校教育目標	現 状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	めざす子ども像	研究	めざす授業の姿
	○「済美になろう」の精神のもと、知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する。 ○地域の一員としての役割意識をもって、地域に貢献できる生徒を育成する。	人間性豊かに他者とかかわり、確かな学力を身に付け、夢を語り、自らの進路を切り拓く生徒の育成	〈児童生徒〉 ○学力調査結果などから、基礎的・基本的な知識・技能はおおむね定着できているが、思考力・判断力・表現力を問う問題に課題がある。 ○生徒同士のつながりやかかわりあいが必要であると考えているが、実際の行動が伴わない場面がある。 〈授業〉 ○ペア学習・グループ学習等により言語活動を位置づけて、思考を深める場面などを設定し、教職員が一体となって授業づくりを進めている。 ○授業の様々な場面において、肯定的評価を行うなどして、学び意欲を高める取組につなげている。	○課題発見・解決力 (問いを持つ ぶり返る 見通す) ○コミュニケーション力 (聴く 伝える まとめる) ○他者とかかわり合う力・心 (思いやり 社会性 貢献)	1年 活動して気付いた・考えたことなどを振り返り、次の(新たな)目標や課題を見出し、次の活動につなげることができる。 2年 活動して気付いた・考えたことやその意味・価値・つながり等を振り返り、見出した次の(新たな)目標や課題を見通しを立て情報を収集・整理・活用しながら(他者を巻き込んで)解決・達成していくことができる。 3年 自分の考えを他者に分かりやすく伝えながら、質問(反論・同意)・説得・納得等を繰り返して、考えを広げ深めるとともに、まとめたり(合意形成)、新たな発想を生み出したりすることができる。	テーマ 生徒の主体的な学びを進める教職員の働きかけ 内容等 ・単元指導計画の工夫(単元内の繋がりを考えた振り返りの明確化、振り返りを書くことができる授業展開)	○一人一人が自分で考え、間違いを恐れずに意見を交わし、共に学び合っている。 ○学びを振り返り、分かったこと、考えたことを豊かに表現している。